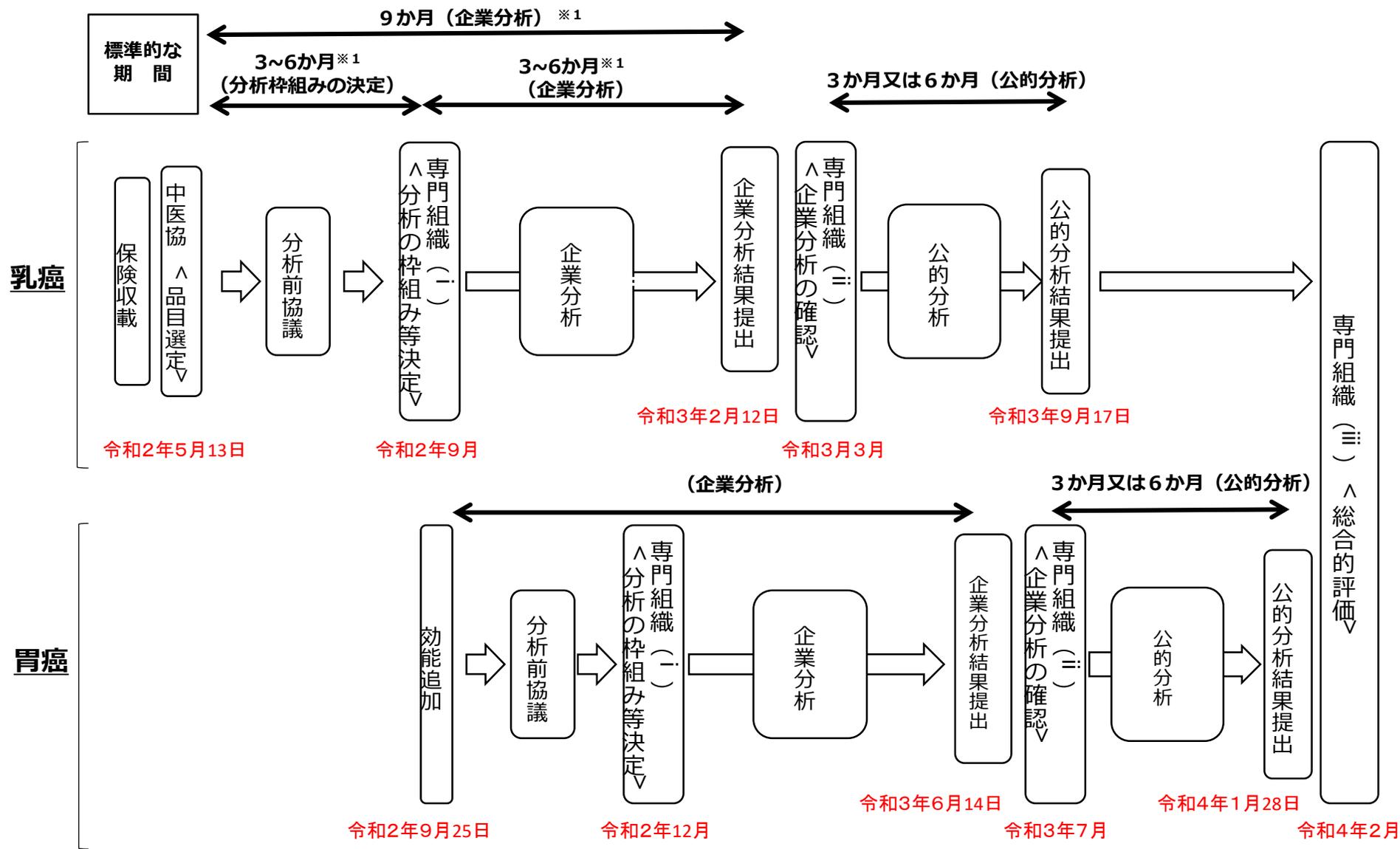


- 効能追加があったエンハーツ点滴静注用について費用対効果評価の経緯は以下のとおり。

## 経緯

令和2年5月13日	総会での指定日（乳癌）	9か月
9月25日	効能追加（胃癌）	
9月	専門組織（i）（分析枠組み決定（乳癌））	
12月	専門組織（i）（分析枠組み決定（胃癌））	
令和3年2月12日	企業分析（乳癌）提出	
3月	専門組織（ii）（企業分析結果確認（乳癌））	
6月14日	企業分析（胃癌）提出	
7月	専門組織（ii）（企業分析結果確認（胃癌））	
9月17日	公的分析（乳癌）提出	
令和4年1月28日	公的分析（胃癌）提出	
2月	専門組織（iii）（総合的評価（乳癌・胃癌））	
3月23日	中医協総会において総合的評価案審議予定	

# (参考) エンハーツ点滴静注用の費用対効果評価について



※1 「分析前協議」と「分析の枠組みに基づく企業分析」の合計の期間は9か月を上回らないこととする。